

新潟縣 公民館月報

(昭和33年3月18日第三種郵便物認可)

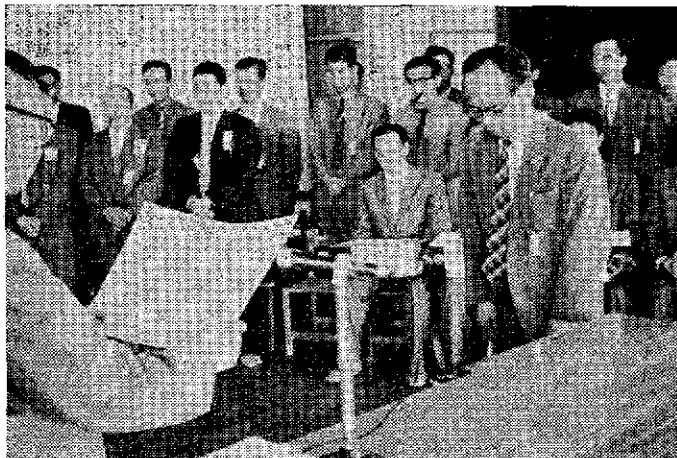
昭和37年7月1日(毎月1回1日発行)

発行所 新潟県公民館連絡協議会
 新潟市一番旗通町(県教育庁社会教育課内)
 【電話(新潟) 234111の653】
 【換替(新潟) 4094】
 発行人 安 沢 純 正
 (定価 1部10円)

7月号 (113号)

公民館月報

13 県公民館大会終る



〔写真は大会壇上で表彰状を受ける優良職員、代表は高橋寅伊知氏、左は安沢会長〕

新時代へ脱皮の苦悶 人間改造、人的資源の開発が先決

「地域社会の総合開発ならびに文化の創造発展に資するため公民館の運営をいかに改善すべきか」という大きな主題を掲げたる六月八、九日の両日、第十三回県公民館大会が弥彦中小学校において約七百名の参加者を得て開催された。つゆ入りの雨にたたらはしたが地元西浦公運のしつかりしたテーマワークと熱心な参加者によって無難のような方向を見出し盛会のうちに終了した。

大会第一日はまずカウト・ガールスカウトたちのす、弥彦中学ボーイ鼓笛隊特別演奏によって幕をあけた。

小野田副会長の開式のこと、N日久保本アノ同会六名の講師は、松原県教育長ならびに安沢会長によるシンポジウムと本部会長のあいさつのおと、小野塚前に分れての分科会がひらかれた。県社教課長、堀井副副会長の感、第二日は会場を小学校に移し、謝状贈呈、優良公民館三館、優良職員贈呈委員会による全体村議があじ終了した。詳しい記録は別稿のとおり。

37年度県公連表彰優良公民館職員名(順不同)

公民館の部	所在地	職員名	所属
田上村公民館	南蒲原郡田上村	津波 善助	村上市中央公民館書記
見附市今町公民館	見附市今町	伊藤 茂治	岩船郡関川村(社会教育主事兼)
中条町公民館	北蒲原郡中条町	菅原 忠年	山北村公民館主事
職員部の部	所属および職名	板垣 作五郎	朝日村
		園部 修	関川村
		本間 大雄	佐渡郡赤泊村
		鶴巻 広喜	加茂市
		植木 亥次	刈羽郡黒塚村
		青木 マツミ	中蒲原郡小郷町
		高橋 寅伊知	亀田町(社教主事兼)
		大島 順平	見附市今町公民館主事
		伊藤 信男	南蒲原郡中ノ島村
		田村 景三	新津市
		大田 重治	高田市中心
		小沢 勘治	春日
		星野 清一	諏訪

目次	頁
第二回評議員会36年度決算承認	P. 2
県大会シンポジウム・全体記録	P. 3
県大会部会記録	P. 4
公民館実践発表要項	P. 5
移りゆく社会の中で考える	P. 6
公民館活動の教えるもの	P. 7

公民館施設補助

近く百七館に交付
 本県は山北村一館のみ
 文部省では本年度の公民館施設費補助金の交付市町村を選考中であつたが、このほど全国に百七館を内定した。ちなみに本年度の補助総額は約億四千万円である。

なお本県では先般以来申請中だった岩船郡山北村公民館一館のみがまじり、北海道八幡、山形五箇島、山口、福岡、大分各四館など合わせて百七館に達している。

7月の歴史

チェーホフ
 一九〇四年七月二日、この日死んだロシアの戯作家。劇作家。医者出身。十九世紀末のロシア社会の明暗相を、すぐれた短篇でえぐりだした「六号室」製作「桜の園」など。

安心してはいけませんよ。自分を眠らしてしまつてはいけません。……幸福なんてものはありません、またあるはずがないのです。もし人生に意味や目的があるとするれば、その意味や目的はけつてわれわれの幸福のなかにあるのではなく、何かもっと合理的な、偉大な、ものうちにあるのです。

× × ×
 あきらかに、いわゆる幸福な人間は、不幸な人たちが黙々とその重荷を背負っていることによつてのみ、自分を都合のよいように感じているのだ。その沈黙なしには幸福はありえないにちがいないのだ。

(すずの)より

36年度決算を承認

第二回評議員会 県大会々場で開催

昭和36年度決算承認など中心議題とする第2回評議員会が県大会第1日正午より弥彦中学校で行なわれたこの日は前堀井副会長の後任に選出された長岡市中央公民館長大高一二氏が紹介された。おもなる審議事項は次のとおり。

- ①昭和36年度会計決算承認議定について(竹内監事により監査結果報告があり、全異議なく下表のごとく承認。)
- ②自治短期大学(仮称)建設募金運動承認議定について(募金割り当て方法等再検討のうえ次回評議員会に提出する)
- ③県読書推進運動協議会及び県図書協会の加入について(県立図書館長と本会常任理事の間で再協議のうえ加入方法等については各郡市へ文書連絡する)

〔昭和36年度一般会計決算〕

才入	款(項)	目	当初予算	予算外用額	追加更正	予算現額	収入済額	予算残額
才入	1.分担金	1.一般分担金	(565,900)			(565,900)	(565,068)	(832)
		2.特別分担金	565,900			565,900	565,068	832
	2.県補助金	1.県補助金	400,000			(400,000)	(400,000)	0
		2.特別補助金	400,000			400,000	400,000	0
	3.繰越金	1.繰越金	(110,000)			(110,000)	(111,429)	1,429
		2.繰越金	110,000			110,000	111,429	1,429
	4.雑収入	1.過年度収入	(131,500)			(131,500)	(47,352)	(84,148)
		2.過年度収入	131,500			131,500	47,352	84,148
		3.雑収入	80,000			80,000	10,800	69,200
		4.雑収入	20,000			20,000	0	20,000
	才入合計		1,207,400			1,207,400	1,123,849	83,551

才出	款(項)	目	当初予算	予算外用額	追加更正	予算現額	支出済額	予算残額
才出	1.事務費	1.手当	287,000	0	(48,000)	(335,000)	(37,889)	(7,111)
		2.旅費	210,000	4,145	38,000	250,145	250,145	0
		3.需要費	210,000	4,145	38,000	250,145	250,145	0
	2.事業費	1.大会費	100,000	22,409		122,409	122,409	0
		2.会議費	115,000			115,000	93,571	21,429
		3.研修事業費	230,000	67,460	38,000	335,460	321,920	13,540
		4.月報発行費	290,000	46,960		336,960	321,920	15,040
	3.負担金	1.負担金	(30,000)		(9,000)	(39,000)	(39,000)	0
		2.負担金	30,000		9,000	39,000	39,000	0
	4.予備費	1.予備費	(15,400)		(9,000)	(24,400)	(340)	(4,151)
		2.予備費	15,400		9,000	24,400	340	(4,151)
	才出合計		1,207,400	0	0	1,207,400	1,085,354	122,046

才入決算額 1,123,849
 才出決算額 1,085,354
 差引 38,495 次年度に繰越す

昭和36年度特別会計決算

項目	目	決算額	備考
才入	公民館講義上代	256,020	在庫42,500 未納金94,000
	館誌のための積立金	65,728	35年5月以降 法令集手引代金
	雑収入	6,045	利息 その他
才入合計		327,794	

項目	目	決算額	備考
才出	印刷費	256,000	320,000円のうち
	送費	25,070	切手 補造
	消耗品費	2,415	クラブ封筒紙ひも等
	計	282,485	

327,794 - 282,485 = 45,309 次年度繰越金(特別会計公民館誌の部)

第3回関東甲信越浄公民館大会開催要項

- 趣旨**
公民館が、産業の高度成長に平行して、地域社会の生活文化のセンターとしての役割を果たすため、どのようにその経営を改善充実していくかなければならないかを研究討議する。
- 主催**
全国公民館連絡協議会 関東甲信越浄公民館連絡協議会
- 後援**
文部省 神奈川県教育委員会
- 期日**
昭和37年8月3日(金)～4日(土)
- 会場**
横浜市民開港記念会館 (横浜市中区本町1～6 神奈川県庁前) 国権楼木町駅下車徒歩13分、市電(丸)又は(丸)で県庁前下車
- 参加者**
県外(10都県)100名 地元400名 計500名
- 日程**
第1日 8月3日(金)
11.00 受付開始
13.00 開会式
13.40 講演
飯題 「産業の高度成長と地域社会の変ぼうの見通し」
講師 商学博士 斎藤栄三郎氏
15.00 分科会
研究協議題 (各分科会共通)
「地域社会の文化的創造発展に資するため、公民館の経営をいかに改善充実すべきか」
内容
分科会構成
第1分科会(都市部会)
第2分科会(都市近郊区会)
第3分科会(農村部会)
17.00 第1日閉会
18.00 研究懇談(宿泊者および希望者出席) 場所 横浜港内
「水丸」船上
19.00 散会 自由見学
第2日 8月4日(土)
9.00 受付開始
9.30 分科会報告、質疑応答、全体討議
討議題 「地域の実態に即した新時代の公民館経営法」
「われわれの公民館長はなりせば…」(講師各分科会の助言者予定)
11.40 大会宣言、決議
12.00 閉会式
- 経費**
参加費 不要
但し宿泊者は1,500円
研究懇談会出席者は500円
- 参加申込について**
大会参加者は予約金500円を添え各郡市公連を經由し県公連まで7月14日(土)までに申込んで下さい。

発展に資する公民館

第13回県大会部会から

※成を目ざしてゆく時個々の問題にふれそれを学習課題化して行く必要である。

助言 成人層の学習意欲はないのではなく、成人は生活の場で学習している。公民館としてはそれらをコンビネートする役割があるのではないが、総合開発的な意味を持つ社会教育の展開について中核は成人が中核となるべきである。公民館とPTAのつながり学校職員とのつながり等についても考えて行く必要がある。

○事業は重点的に行い経費も集中的に投入する必要がある。今一度地についた活動とは何か反省する必要がある。基礎的なもの、内面的なものよりも意欲をかきたてる作用をもつものを考えてゆく必要がある。

助言 総合社会教育の展開については青年を中心としてその実態、生活と意見を調査し地域の実態その中にある自己の実現を適格にはあくすることから各種の方法手段、広報、有線方法、学級講座等について研究して行くことがならいである。

農村部会第4

司会 (大島村) 内山克行 書記 (朝日村) 板垣作五郎
助言 (中越) 丸山久夫 (下越) 佐竹 実

○取り上げた問題……公民館の機能

○結論……これからの公民館運営は部落

(村) ぐるみの活動に発展させねばならない。

①指導者の養成と協力体制の確立が急務である。

○現在の職員構成ではまとまった仕事ができない。企画はなくとも人を得て陣地につかじめよ。

指導者の養成が急務

○公民館活動は若さを中心としたものでありたい。

○役員を部落公民館に配置した (佐渡)

○協力委員の設置 (新発田)

○私設指導主事 (刈羽郡)

○常任委員制 (北魚沼郡)

以上の事例では大変効果をあげつつあるとの発表があった。

②活動は部落単位に積極的に推進すべきである。

○中央に集めることはむずかしく効果が非常にうすい。だから中央館は設備を整え機動力をもち部落活動にサービスすることが望ましい。

○部落民の実態と要望を基にした活動は部落民の話し合いできめられるべきである。

○訪問集会で成績をあげられた事例… (佐渡 新発田)

○効率的な運営と活動は総力を結集した部落ぐるみの運

動であること。

○職員 (館長主事) の一人相携では実効があがらず住民と一体化した活動が大切である。

③その他話し合われた事項

○公民館法の単独立法を実現せよ

○成人教育にもっと力を入れよ

○結末よりもこれからが大切

○青年をとりあげても青年かみはない。

自由部会 (123 合同)

司会 皆川厚 書記 丸山昇 助言者 佐藤貞正 (下越)
桑原 (中越) 江端 (巻教育長)

討議の概要

①青年学級の現況と問題点

例 開設申請があつて開設したがどうもうまくゆかない。(小出町) 問題点A 学習意欲がない。

B 出かせぎが非常に多い。

例 私の町ではこれとは反対であり、青年団活動におきたらないで、脱会して行くのが多くなり、これが学級へ入ってきて、逆に問題解決の方法として青年学級はかえて良く運営されている。(小須戸町)

良くいっている例

巻では、テキスト等は町で備え、ゼミナール、理容学級等では有機的な学習方法として、良くいっているようだ (巻町)

例 漁業が多いので、職業的に重点をおいており、生産学習として「天気図」などを中心に学習を進めている (館生町)

②公民館活動と職員の問題

例 公民館活動が間口がせまく、それによって職員構成が安定となる。2、3年もしれば異動されて行く。

例 反対に職員からむしろ出て行く者もあるそれによって活動に身がまいるらない。

③公民館設置基準の問題

県独自の基準をなぜ早く置かないのか (柏崎)

課長答弁 1 活動には絶対に自信を持ってやってほしい。

2 国の基準は大きいのが、県段階には問題があるが、みなさんの意見を聞いて決めた。

④公民館の機能整備の問題

例 町村合併による館の統廃合により活動範囲が広がる反面、職員の人員が増員されていない。

○条例整備が急務であるが、職員構成が重要だ。

(相川町)

第九回公民館活動実践記録の募集と職員研究集会要項

主催 全国公民館連絡協議会
後援 文部省 日本放送協会、新生活運動協会

一、趣 旨

社会教育の中心施設としての公民館の活動を適切ならしめるため、直接その運営にあたる公民館職員の創意工夫にもとづく実践の成果を集め、その発表を中心として研究集会を開く

二、実践記録の募集

①つぎの研究テーマに対する研究と実践の成果をまとめたリポートを募集、適切に認められるものを選定して研究集会で発表を求め優秀なもの表彰する

②研究テーマ

公民館における青少年教育、公民館における成人教育、視覚教育員 (ラジオ・テレビ・映画・スライド等) の利用、公民館の広報活動、公民館における新生活運動

③リポートの作成要領

研究テーマのうちいずれか一題を選び、その研究と実践の具体的な概要を四〇〇字原稿用紙一〇枚以内にとめる (当用漢字、現代かなづかいによること) なお、内容はなるべく基礎調査をふくめること

④公民館名、職員、氏名 (ふりがな)、住所、年令、生年月日を別紙に明記してリポートに添付する。

⑤審 査

第一次 各都道府県 (ここに予選を行い「特選」一名を選定 (二位以下の入選者は函宣) するものとし、予選の方法は各都道府県公連に一任する
各都道府県公連は昭和三十七年十月末日 (期日) 截止 (までに) 公連に「特選」一編を推せしめるものとする
第二次 全公連は、別に委属する審査員により、各都道府県推せしめる作品につき予備審査を行ない、各テーマごとに入選者十名を選定して研究集会を求め、最終審査の結果により、及び賞品額状を贈る

○応募者は十月中旬まで県公連事務局へ送付のこと。
○応募者のうち三名は国立青年の家の研究集会に参加できる。

都市部会第1

司会 水橋忠司 書記 福島定治 助言者 清水義郎

出席者18人

話し合いの主なもの

- ・地域産業の主体性はどうあるかを考えるのが総合開発を考えることになると思う。
 - ・文化の創造というが今の私たちは文化を受身(ラジオ・テレビ等)の形で受けとめているのではないか。皆んながやってみた上での文化の創造であってほしい。それらを考え、そしてやらせるのがCPHであってほしい。
 - ・CPHとしては、人間関係すなわち精神面の開発をやるのが、物質的な開発面にも協力することになるのではないだろうか。
 - ・国の果の大きな総合開発の波が住民のところよきいてくる。この動きに住民がどのように対処したらよいか。この対処する考え方についてはCPHが担当すべきだ。
 - ・CPHが総合開発の先頭に立つのではなく、CPHがこの流れの中にあるのであるから、それにどう対処するかを考えるべきだ。
 - ・総合開発をやるには、人間関係をつくることにある。その人間関係をつくるのがCPHであると思う。
 - ・今の産業開発はCPHが考えている以上に各機関団体共(特に産業機関)に伸びているのではないかCPHは、それと連携を充分にとるようにならなければならない。
 - ・そのような人間関係の開発をCPHでやるとすると、理論としては解かるが、具体的には何をやるべきかとなると答がでない。
- これがこれから公民館に課せられた問題である。以上が話し合われた主な点であるが、地域の物質的資源や観光の進展に住民の主体的な活動ができる体制を作ってやるのがCPHの役割と考えられる。

都市部会第2

司会 楚山盛太 書記 松岡 友 助言者 桑原芳太郎 渡部 二郎

公民館の運営に重点を置いて

- ・青年学級の問題…今までの行き方を変えて農業、工業、商業青年学級の方へ
- ・グループや団体等の育成につとめる……未組織のグループ。団体などの育成につとめ横の連絡をもつようにする
- ・図書館利用について…移動図書館(巡回文庫)を利用して読書の機会を与えること。
- ・職員が不足して公民館活動に応じきれない。(毎年職員に異動があり1~2年で変わっているところもある)

都市部会第3

司会 丸山喜久二 書記 鈴木鉦三 助言者 遠山貞司 佐藤徳治

(文化の発展に寄与するためにはどうあるべきか)

都市社会では

- ・小集団活動(サークル活動)がおきてくる。これらの育成と公民館の文化団体活動の立場はどうあるべきか。
 - ・分化しながらその中に共通のものに総合されることが必要ではないか。
- そのため公民館は総合開発計画、新農村建設計画等に住民の関心を深めるよう努力すべきではないか。
- しかし、これらの活動を推し進めてゆくには公民館の職員や施設が不足である。

農村部会第1

総合開発と文化の創造

司会 高橋竹二 書記 大塚 隆 助言者 亀山 末松 青柳仁久治

出席者構成 男子 32名 女子 3名

- ・職員が不足している。教育委員会と兼務ではやはり公民館関係の仕事が犠牲になってしまう。
- ・ではそれをどのようにカバーして行ったらよいか(司会)職員だけが仕事をせず審議委員からも仕事をしてもらう。また予算がないからできないというのも疑問である。
- ・計画が職員の能力と一致しなければならない。それが一致しないのではないか。
- ・地域代表を起点として活動、地域的自発活動から理事者の認識を得ること。
- ◎職員が不足しているのはわかる。しかし工夫する事も仕事である。とにかく受け入れ型の住民の姿にしておくのはダメだ。一変突きはなしてみるのも方法である。

農村部会第2

司会 渡辺吉雄 書記 伊藤茂治 助言者 金井直夫 小黒清治

問題提起を求める。(司会)

- 1、公民館活動は狭く深く行くべきか、広く行くべきか。
- 2、公民館活動は予算に左右されるが、どのように取捨選択していけばよいか。
- 3、広報紙を通じて政治問題をどのように住民に知らせるべきか。
- 4、平湯の農村で人口が少なくなったが、グループ活動をどのように育てていくか。
- 5、兼業農家の青年の教育ををどうするか。
- 7、農村では人手不足をきたしているのに公民館行事に参加させることは適当でないと思うが、これに変わるものはなにか。

以上7つの問題から、3をとりあげあとは全体にまとめて話し合ってみることにした。

まず広告紙について

- ・市町村の政治問題をのせる場合、理事者の顔色を見ながらのせている。また投票の政治批判など建設的でないと思つてものせられない悩みがある。これについて政治問題などののせる場合は、編集会議等で住民のハンキョウを考えて、正しい村民の声をのせられるようになるのが望ましい。

全体として

行事中心公民館でなく人間形成を考えた公民館活動を視覚的方法その他で考えていくことが必要だ。

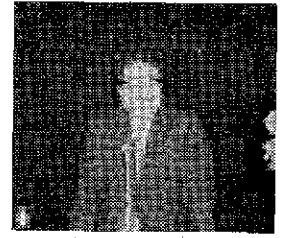
農村部会第3

司会 小暮善栄 書記 建部利彦 助言者 中浜新四郎 伊藤 新作

参加人員40名

- ・農村労働人口の急激な減少によって青少年を対象として各種事業の展開が困難となってきた。婦人の参加は活発であるが、成人層、壮年層の参加が少なくて行くことが必要である。
- ・村づくりの研究、各種機関を含めた協議会によりそこから新しい企画が集められてこなければならない。
- ・自治体の部落組織の再編成を考えてゆく必要がある。特に分館活動は部落組織と密着して行く方向も考えるべきである。
- ・村ぐるみ協議会等の話しあいから新しい生活を生んでゆく時に実態調査が必要である。
- ・全体的又は団体のみを考えるのではなく個々の人間形

大会記念講演要旨



「眠っていないのか」 た公民館

私は以前公民館は公展館と云ったことがある。しかし昨日からきよにかけての分科会、全体討議のようすを聞いていて、新潟県の公民館は眠っていないと感ぜた。婦科したところから公民館は眠っていないかという記事を書かせていたからか眠っている。(笑)昨年かろうじてにかけた。いちはやく時代の

交際でこれに処する公民館自らの問題を主眼としておぼけていてどこに教育を表している。私は三年前、約二十年ぶりにアメリカの家庭教師として視察した。そしてアメリカは驚かしてきていた。アメリカを考えた。アメリカの国民自身が、みずから受けてきていた。いことを認識しはじめた。ちよ

大統領選挙のさなかのケネディとニクソンが論争していた。ケネディはアメリカの信用は地に落ちたというのをいうと、ニクソンはアメリカは繁栄しているというのをいって、いわゆる権威論争というのをやっていた。その結果はケネディの方へ国民がたむき、アメリカ国民をして権威を奪ってしまった。これは何かという問題を考えさせることになった。

「革命のなかに生きていく」

私はその第一の要因は科学技術の高度の発達であり、第二にはマスマソミの発達である。私にはいまだ人間の歴史のなかで大きな革命のなかに生きて

「科学技術とマスマソミ」

もう一つのマスマソミも善悪をわけていって、たがいは青年の運動についての世論の相克は、マスマソミによる影響が大きい。運動から全世界の運動に進展した。原水爆反対運動などは良い方のマスマソミの力によるものである。こ

スロミの力によるものである。このように科学技術の発達とマスマソミには共通したものがあ、人間自身がこれをマスマソミに使うか、マスマソミに使うかによって人類が対決しなければならない。その路に立っている。

「世界のなかの日本」

私はかつてアメリカ・フランスと渡るとき、終戦時はマスマソミにいた。異国にいて日本においてきた自分の子供のことを考えたとき教育以外には考えられなかった。終戦の翌年日本に帰って来て、日本人における人間改造も、日本の

「総合開発の複雑性」

今日機会あるとこの問題にさわっている総合開発というものは、味は何であらうか。総合開発というものは戦後たまたにもいられたもので当時このことばは、最大の意味は、食糧の確保と電力の開発というまことにみみちい

移りゆく社会の中で考える

朝日新聞論説委員 伊藤藤昇

「憲法について」

憲法が私たちの生活の中に定着したおなじみの一つに男女の同権がある。労働組合運動なども近代社会のあり方として定着した。学

今日の総合開発というのはもつと複雑である。交通戦争、地下水問題、大工場を新編県や富山県あたりへ分散配置するという構想。農村青年の人口が減少した結果、かつてトナリ型青年団といわれていた青年団も解消せざるを得ないというような問題とまじりながら時代の交錯と総合開発の複雑性がある。

「マーニズムの警告」

チャップリンの映画モダンタイムスの警告が日本では、いまやつぎにやってくる。オートモーションのきりいな大工場が続々と建ち、銀行でも事務機械が工場のようにそ

なり、お持ちさんが尊敬される時代になってきた。共かせき夫婦が多くなった。これは、子供は放任された。これは、不長化の原因を作ることにつながっている。いまアメリカでは、女の先生が小学校90分、中学校80分、高校50分もいる。この傾向は日本でも同じようになる。生れてからずうと女性のみに育てられるというとは、男が男らしくなるとい

「人間造りが先決」

ここに公民館の存在意義がある。住民たちが求めているものは何かを分析し、方向づけを忘れず、公民館へ行くとか何かがあ。行けば得するといふ前向きな方向へもついでである。

「欲求不満の原因」

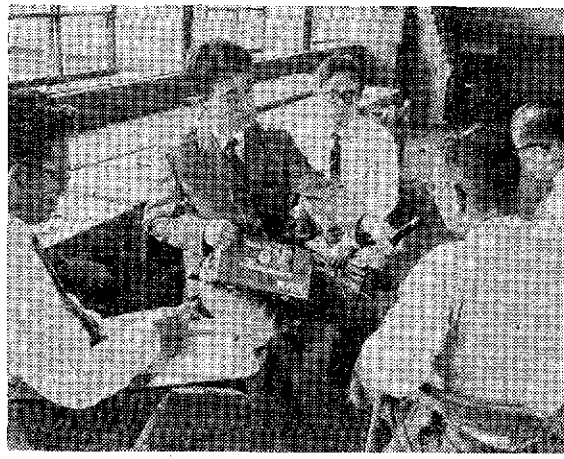
マス・プロ(娯楽)ーマス・コ(宣伝)ーマス・コ(消費)という過程をくり返すことによって人間はプラスチック・レーション(欲求不満)におちいる。政治家が十年後の国民の消費生活はどんなになっているかというふうな意を伝えて国民をリードしてモント

公民館人が教えるというのではな、充分腹股肉の蓄った公民館員、住民自身が自ら利用しながら学んでいくことである。仕事は無限にある。結論は人間改造である。私はその地域、その土地の人的資源の開発を望みたい。(文責 本田)

右上写真は、壇上の伊藤見氏

サツちゃん

1107 うつきかす



「写真左から伊藤、安岡プロヂュサー、杉野、樋口、庵原の各氏」

公民館大会第一日終了後、公民館活動の教えるもの」と題してNHK新潟放送局主催の座談会が行なわれた。出席者は県社教主の伊藤新次氏、地元公連会長の樋口弘雄氏、主事会幹事長の杉野哲次氏、本会幹事伊藤野の庵原健氏の四名、同会はNHK安岡プロヂュサー。放送は八月十七日(日)朝六時十五分からの「きまも明るく」の時間で放送されたが一人約六分というみじかい時間で、聴取者に対してはたしてどの程度理解せしめえたかは疑問だが、それぞれの立場から熱弁をふるった。

NHKから放送

公民館活動の教えるもの 大会を記念しての座談会

プロごとしの大会は非常に大きな話題を掲げているが、樋口結局、異常な速度で変換している社会に对应して、社会教育のあり方も当然変換してこなければならぬというところから出発しているわけだ。庵原 昨年にも変換する社会を主題にして勉強した。ことはそれをさらに積み上げて、こんどは実際にどうすればよいかについて研究討論するものだ。杉野 公民館の専門職員が少ない設置運営基準はできていないが、実のなにもで図書館法のようなものにまでも行っていない。これは公民館は真の文化施設としての役割果せないではない。

プロで主題に対してどのような活動が望ましいのか。樋口 地域によって活動の方法はいろいろあるが、行政のあり方を住民に知らせること。自覚症状のない地域全体の病氣(社会的な)を診断して自主的に直すというところが大切だろう。庵原 民主主義社会への啓発運動だ。各人の目が開いてくるように、勉強する気持を助成するのだから、真の助言者の役割を果たすことだ。

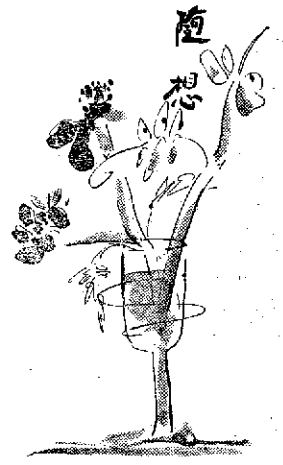
プロ 生れてから十三年終った公民館が、地域の変わる改革に一体どのように対処するのか。杉野 たとえば農村の欠乏について憂えてほしいという考えがある。対象物、目的は一つであるのかかわらず無数にあるように錯覚している。現在の農業の実態をしっかりとつかんでみれば自覚の醒めた。公民館は変換する社会に迫っているのかどうかは反省する必要がある。

青年、その中間の青年と、青年の分布が大きく変わってきているとき、青年学校のあり方も大転換をせまれていると思う。樋口 大転換といっても一からすまはられない。料理でもお花でも豊かな人間性をうちかかすものであればこれもまた必要である。杉野 料理やお花はとくくみやすいので、とかく眼醒めをうけやすい。講師をあっせんするから自由になさいてはためです。もつと自主的なものを積み重ねさせること。職員自身も「虎穴に入らずんば」の気概が必要だ。庵原 それは職員は専門職制と身分の保障が先決だと考え、主事の資格規定をはっきりさせるための努力をしている。プロ いままで公民館の功績があらわすれば何か。

伊藤 農業青年、工場プロではこのへんで。

本紙の配付先 (読者層)

- ① 市町村公民館長、主事、職員 公民館運営推進委員
 - ② 市町村長、同教育長、同教育委員、同教育委員会
 - ③ 市町村社会教育委員、同社会教育主事、同社会教育課員
 - ④ 市町村社会教育関係団体長及び役員
 - ⑤ 県知事部局
 - ⑥ 県教育長、同次長、同教育委員、同社会教育委員、同社会教育課職員、同出張所社会教育主事
 - ⑦ 県社会教育関係団体役員
 - ⑧ 文部省、全公連、関東甲信越静公連事務局、同社会教育課
 - ⑨ 社会教育関係中央出版社
 - ⑩ 新潟日報、朝日、読売、毎日新聞各支局及びNHK、BS、N等放送機関
 - ⑪ 一般希望者等 (全発行部数 三九〇部)
- お願ひ
本紙の印刷原価は一部用紙で部大円で、現在は現在の定価です。第三種郵便としての送料がは、一円の赤字となりますが、本紙の配布範囲をひろげ読者を増加していただくことにより送料が安くなるの途に探索とさせていただきます。県公連書成のためにも皆さんの御協力をお待ちいたしております。



ソウシタモノニナリタイ

坂爪 精一郎

「ソウシタモノニワタシハナリタイ」官沢賢治の詩を引用し、社会教育の仕事をするものは、こつた人間であることが好ましい、と何かの本で読んだことを記憶している。特に、社会教育を行う者に心積りと、行動としては確かに、健康なからだの持主であらう。

(3ページからの続き)

「ソウシタモノニワタシハナリタイ」の現象であるといわれる。人間作りが大切だとおっしゃる本間先生に同感するとともに青年の学習活動が望まれるゆえである。

農業協同組合の矛盾が生じ、農協に生きる青年が少なくならびながら、農業の共同犯がすめばたとえは明瞭な事というよすがももつとやりやすくなる。たゞ新協の「ワカイ農業」の失敗をみずぐに兵

同化はだめなんだといった近視眼的態度をしてはいけない。これは「ローマン・リレーション」

⑨ 自治局予備会をもっと

本奔、西走、寧日もない活動を続けてゆくには「雨ニモマケズ風ニモマケズ、雪ニモマケズ、暑ニモマケズ又丈夫ナカララララ持チたいものである。

二、溫和な情の持主であらうたい「欲ハナク、欲シテ怒ラス、イツモ静カニ笑ツテキル」複雑な社会の中で顔のちがう人間を相手とするには、こうした態度がのぞましい。

三、民衆とどけこめる理解の持主であらうたい。「一日ニ玄米四合ト味噌ト少シノ野菜ヲ食ベ」る粗朴さは、そのまま民衆の素直な生活の姿だ。生活の理解がなく指導意識の行過ぎは困りものだ。

四、豊かな奉仕精神の持主であらうたい。考えやうとことかと思ふ。公民館報を理事者の職務で発行を止せせることには問題があるのではないか。

五、雑な勉強して真実を追求するものであらうたい。学ばざれば睡し、と人に説く前に「ニク、ミキシキ、ワカリ、ソシテフスレス」十分調査し、

編集委員会

六月二十六日新潟の三委員に事務局側からは鹿市はくすい荘におい、原、太田、笠原の三名。本紙編集委員会が、当日は、社会教育関連政機開催された。出席者 関のび、シャナリズムとの座は杉野、徳間、高橋、談会を本年度特集にとりあげる

地域の民衆は、茶室における賓客と心得たい。「アラユルコトヲ、ツブシラカシヨウニ入レズ」に謙虚な気持で応接したいものである

六、技巧を用いず、自然と親しみ自然を愛する人間であらうたい。これは知恵が伴わなければ危い。特に成人社会は不特定大衆で構成され、インフォーマルなものだ。形式や外形にとらわれ技術といわれるもの手を加えただめに、ゆがめられたり過されることは決して少くあるまい

七、人は親切にし、憎しみをしない人間であらうたい。本県では国本開権を機会に、人々には心から親切にしよう、と県民に呼びかけている。一東二病気がノドモアンバ行ッテ病弱シテヤリ、西ニツカレタ母アレバ行ッテソノ稱ヲ求メ負ッテやる。本県人は親切心と行動が分裂しているといわれるが積極的な個人的ガイダンスも学びたい

八、勇氣ある正義感の持主であらうたい。「南ニ死ニウナナアレバ、行ッテコワガナクテモイイトヒ北ニケンカヤン、ウガアレバツマラナイカ、フヤメロトイ」ラ随所と原野のための三義主義は不正や権力を取勝たせざるやう平和と正義を守る旺盛な勇氣をもちたいものだ

九、ヒューマニズムの持主であらうたい。生活の中の不合理、非能率、古さやゆがみを払いのき、「ヒデオノキハナミタラナガシ、サムサノツハオロオロアルキ」人の不幸を是のがせぬ愛情をつねにたくしたくないものだ。

一〇、見栄をすてた東方の持主であらうたい。名称をのぞむだけで空虚な人間程、愚かしく不安なものはあるまい。奇人、変人になれとはいわない。辺幅を飾って威を張るよりも、どうした場にも馴れ通る態度に徹したいものだ。「ミンナニ、デクノボートヨバ、

八月三日四日の二日間横浜で関フロの大会が開かれます。自舎はちょっと趣向を変えて、かつて大洋航路で活躍し、いまは海上ホテルになっている水川丸、環境もよし、ひとつ参加してみようという同志は要員をこらんのうえ本会事務局あて至急お申し込みください。

ことなす新機軸を盛った編集計画について協議したほか、編集委員会規則原案を作成すること、また今後の充実を期するたため、本年度はよりあますテープコーダーを購入したい旨役員会にはかることになった。

研究を続けたいものである。世界は生半端に進歩している。発想はつねに新鮮であらうたい。六、技巧を用いず、自然と親しみ自然を愛する人間であらうたい。これは知恵が伴わなければ危い。特に成人社会は不特定大衆で構成され、インフォーマルなものだ。形式や外形にとらわれ技術といわれるもの手を加えただめに、ゆがめられたり過されることは決して少くあるまい

七、人は親切にし、憎しみをしない人間であらうたい。本県では国本開権を機会に、人々には心から親切にしよう、と県民に呼びかけている。一東二病気がノドモアンバ行ッテ病弱シテヤリ、西ニツカレタ母アレバ行ッテソノ稱ヲ求メ負ッテやる。本県人は親切心と行動が分裂しているといわれるが積極的な個人的ガイダンスも学びたい

八、勇氣ある正義感の持主であらうたい。「南ニ死ニウナナアレバ、行ッテコワガナクテモイイトヒ北ニケンカヤン、ウガアレバツマラナイカ、フヤメロトイ」ラ随所と原野のための三義主義は不正や権力を取勝たせざるやう平和と正義を守る旺盛な勇氣をもちたいものだ

九、ヒューマニズムの持主であらうたい。生活の中の不合理、非能率、古さやゆがみを払いのき、「ヒデオノキハナミタラナガシ、サムサノツハオロオロアルキ」人の不幸を是のがせぬ愛情をつねにたくしたくないものだ。

一〇、見栄をすてた東方の持主であらうたい。名称をのぞむだけで空虚な人間程、愚かしく不安なものはあるまい。奇人、変人になれとはいわない。辺幅を飾って威を張るよりも、どうした場にも馴れ通る態度に徹したいものだ。「ミンナニ、デクノボートヨバ、

八月三日四日の二日間横浜で関フロの大会が開かれます。自舎はちょっと趣向を変えて、かつて大洋航路で活躍し、いまは海上ホテルになっている水川丸、環境もよし、ひとつ参加してみようという同志は要員をこらんのうえ本会事務局あて至急お申し込みください。

編集委員会を開いた結果、大原公雄がテープ・コーダーももっていないのではなげない、新時代に即応する機能を発掘できないではないかということになり、役員会にはかたたら難なくOK。携出用で最新式のやつを買おうことになりました。まず、社会教育関連行政機関との座談会があたりの活用することになります。御期待ください(六・七)

編集委員会を開いた結果、大原公雄がテープ・コーダーももっていないのではなげない、新時代に即応する機能を発掘できないではないかということになり、役員会にはかたたら難なくOK。携出用で最新式のやつを買おうことになりました。まず、社会教育関連行政機関との座談会があたりの活用することになります。御期待ください(六・七)



ホマレモセス、クニモサレズ」そうしたことを気にするものがそもそもおかしいのではないかと、こうして列べてみたが、公民館人各役のお目をかけたことにならなければ、選挙の幸せ、ということにならう、安否多謝(県社会教育主事) (六・七)